

(別冊資料)

令和7年度公立高等学校入学者選抜制度の改善の概要について（全日制）

令和5年7月6日

高校教育課

現行入試制度の課題について

① 2回チャンスも、前期不合格に伴う様々な問題が顕在化

入試年度	前期選抜 不合格者数	後期で同校受検	後期で他校受検	後期不受検
令和3年度 (R3.3卒)	3,099	2,937 (94.8%)	112 (3.6%)	50 (1.6%)
令和4年度 (R4.3卒)	2,437	2,313 (94.9%)	69 (2.8%)	55 (2.3%)
令和5年度 (R5.3卒)	2,763	2,627 (95.1%)	91 (3.3%)	45 (1.6%)

【中学校の声】前期選抜で不合格になると、後期に向けて5教科の準備が必要になる。また、周囲で進路決定者が増えていくので、心理的負担がかなり大きい。中には、後期選抜受検を取り止める生徒もいる。

【高校の声】前期選抜で、優秀な志願者をやむを得ず不合格にしなければならない状況がある。しかし、後期では定員を満たさず結果的に未充足になる。前期・後期に分ける必要があるのか。

② 5教科受検の生徒が減少したことに伴う中高それぞれの学校への影響

令和2年度 (R2.3卒)	【学力検査なし】 1,421名 (19.6%)	【5教科受検】 5,830名 (80.4%)	
令和3年度 (R3.3卒)	【学力検査なし】 698名(10.0%)	【3教科受検】 2,298名 (32.9%)	【5教科受検】 3,994名 (57.1%)
令和4年度 (R4.3卒)	【学力検査なし】 821名(11.9%)	【3教科受検】 2,136名 (31.0%)	【5教科受検】 3,928名 (57.1%)
令和5年度 (R5.3卒)	【学力検査なし】 834名(12.2%)	【3教科受検】 2,116名 (30.9%)	【5教科受検】 3,899名 (56.9%)

現行制度

【中学校の声】・前期選抜（基礎学力検査）か私立高校（3教科型）のどちらかで進路を決めようとする生徒は、3教科（国英数）しか勉強しない。

・私立～後期選抜までの入試期間が長くなり、進路決定時期がバラバラになったので、授業の進め方が難しくなった。

【高校の声】理科、社会の基礎が徹底されないまま高校に入学してくる生徒が多くなり、高校入学後の指導に支障をきたしている。



GOAL : ふるさと長崎や世界の未来を拓く人材の育成

公立高校の多彩な
学びのラインナップ

産業教育の実践

(ワクワク産業教育実践事業)

- ◆ 農・工・商連携ネットワーク構築
- ◆ 総合学科連携ネットワーク構築

未来の創り手の育成

- ◆ 起業家精神を持つ人材を育成
- ◆ 生徒が主体的に学ぶふるさと教育を推進
- ◆ 探究的な学びに伴走する教師の育成

離島留学の推進

- ◆ 離島留学制度実施校において、特色ある教育活動の実施や地域との交流

グローバル人材の育成

- ◆ 海外語学研修を通してのグローバルな視野の育成
- ◆ グローバルな社会課題の研究

教育の情報化の推進

- ◆ 学校間連携による学びのイノベーション創出
- ◆ 学習データ活用による個別最適な学びの推進

普通科 専門学科

農業・工業
商業・水産
家庭・看護
情報・福祉
国際・外国語
文理探究

総合学科

サイエンス・テクノロジー人材の育成

- ◆ 自然科学への興味・関心を高める取組
- ◆ プログラミングについて学ぶ機会を提供

高校と地域連携の活性化

- (高校・地域連携イキキ活性化事業)
- ◆ 地元県立学校が担う役割を地域と共有し、魅力ある学校づくりを目指す

遠隔教育センター

- ◆ 小規模高校等の生徒に対し、興味・関心や進路希望等に応じた多様な学び、企業や大学等の外部機関と連携した探究的な学びを提供

主体的、対話的で深い学び

探究的な学び

協働的な学び

個別最適な学び

新たな入学者選抜制度

現行制度

前期選抜

A特色

B特別

後期選抜

特別選抜

(自己推薦)

学校内外での主体的活動で培った自らの強みを生かせる制度

一般選抜

学びに向かう姿勢を評価するとともに、探究的な学びを検査問題に取り入れた選抜制度

チャレンジ選抜

(再募集)

主に離島・半島部の少人数教育実施校で、夢や目標の実現に向けて頑張る姿勢や意欲に応える制度

自らの可能性を高め、自分らしさを育む

探究的な学びを推進する

ふるさとへの愛着や誇りを育む

～高校教育三本の柱～

R 7 年度公立高等学校入学者選抜制度（全日制）改善についての方針【案】

- ◆中学校内外において主体的に取り組んだ活動（文化・スポーツ、生徒会活動等で顕著な実績を残した者、その他、起業体験者、プログラミングコンテスト受賞者、IT系国家資格取得等）で培った自らの強みを生かせる**特別選抜**を実施します。

※自己表現の場として、自己推薦書を導入します。

※調査書、自己推薦書、個人面接またはプレゼンテーションで選抜します。

- ◆中学校までに取り組んできた学びの内容に加え、学びに向かう姿勢を評価するとともに、日常生活、社会問題などに関連した探究的な学びを検査問題に取り入れた**一般選抜**を実施します。

※特別選抜で合格者となっていない者を対象とします。

※学力検査（5教科の比重は各高校が設定）、調査書、面接で選抜することとし、各検査の比率を各校が設定します。

※探究的な学びを取り入れた検査問題は、全体の2割程度を想定しています。

- ◆きめ細かな指導を行っている少人数教育実施校で、それぞれの夢や目標の実現に向けて頑張る姿勢や意欲に応える**チャレンジ選抜**を実施します。

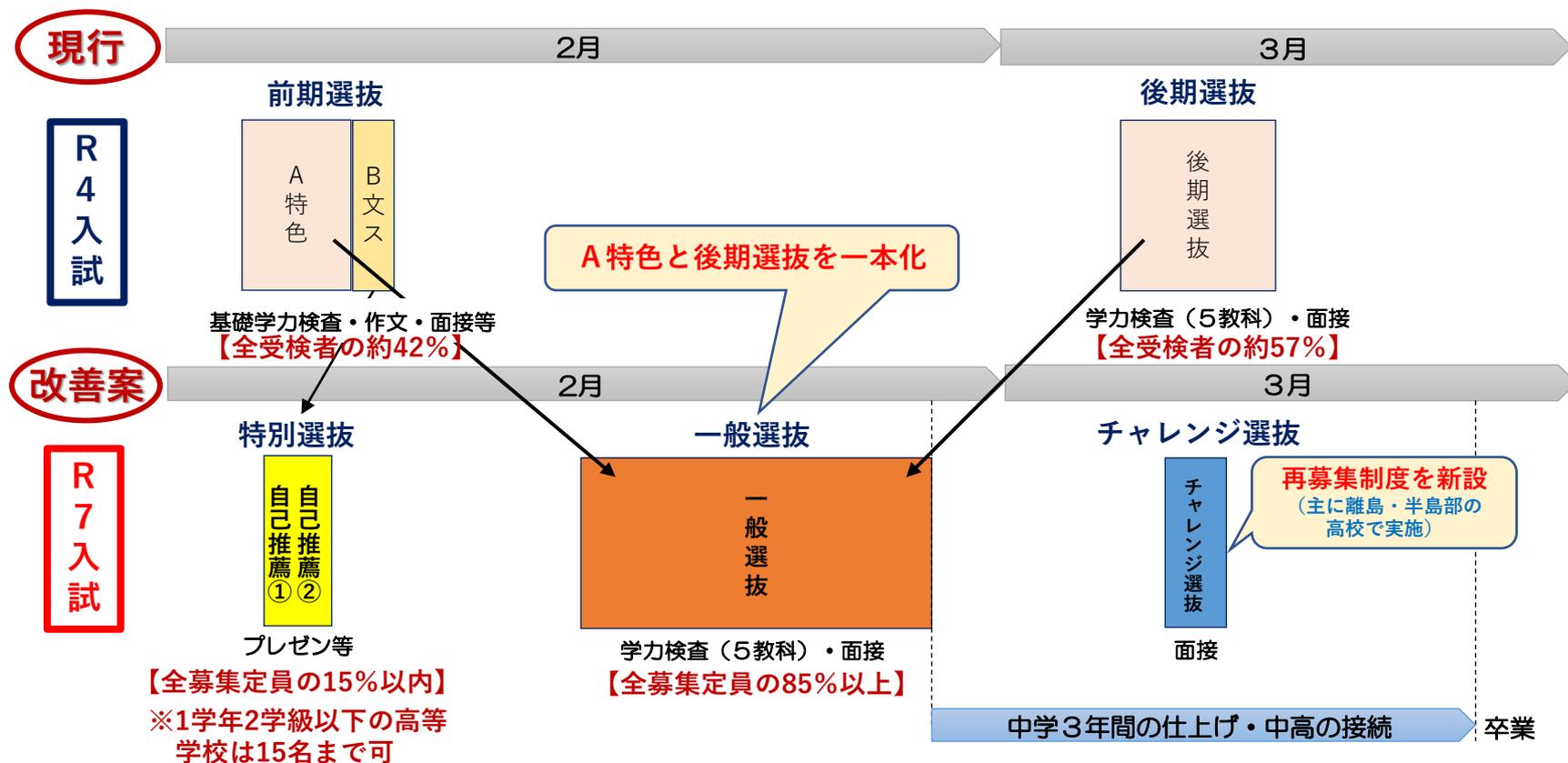
※主に離島・半島部の高校で実施します。

※特別選抜及び一般選抜で合格者となっていない者を対象とします。

※調査書、個人面接で選抜します。

※遠隔教育センター（R7開設予定）と連携を図り、大学進学などに対応した教育を行います。

R7年度 入試制度（全日制）改善について【案】



R 7 年度公立高等学校入学者選抜制度（全日制）【案】

【特別選抜】 ◎基準：2月第1週

※各選抜の定員は各校で設定する。

自己推薦 ① ・ 自己推薦 ②	全募集定員の15%以内 （1学年2学級以下の高等学校については、15名まで可とする。） ただし、自己推薦①の定員は、特別選抜による定員の3分の2を超えないものとする。	○中学校内外において主体的に取り組んだ活動（文化・スポーツ、生徒会活動等で顕著な実績を残した者、その他、起業体験者、プログラミングコンテスト受賞者・IT系国家資格取得等）
-----------------------------	---	---

自己推薦①：文化・スポーツを含む主体的な活動で顕著な実績をもつと自ら認める者で、かつ当該校に進学する強い意志を持ち、学校の求める生徒像に合致する者

自己推薦②：文化・スポーツを含む主体的な活動で顕著な実績をもつと自ら認める者で、かつ当該校に進学する強い意志を持つ者

《検査内容》 調査書・自己推薦書・個人面接またはプレゼンテーションで選抜（学力検査なし）

《その他》 評定等の出願条件を各校で定める

【一般選抜】 ◎基準：2月第3週

※各検査の比率は各校で設定する。

(100－特別選抜) %	(例1) 学力検査：面接：調査書 = 8 : 1 : 1 (例2) 学力検査：面接：調査書 = 3 : 1 : 6
--------------	--

《検査内容》 学力検査（5教科 ※比重は各校で定める）・調査書・面接（対面または紙上 ※各校で定める）

【チャレンジ選抜】 ◎基準：3月第1週

100－（特別選抜＋一般選抜） %	主に離島・半島部の高校で定員未充足の場合に実施
-------------------	-------------------------

《検査内容》 調査書・個人面接

3 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

近年、問題となっている海洋プラスチックごみは、海中を浮遊して海岸に漂着したり、海底に沈んだりして、海の生態系に影響を与えられている。プラスチックが浮遊したり、沈んだりしているのは、物質によって密度が異なるためである。そこで、身の回りでもよく使われているプラスチックについて、密度の違いに着目して、次の**実験1**と**実験2**を行った。**表1**と**表2**は、室温における4種類のプラスチック、水、20%食塩水の密度を示したものである。ただし、実験に用いたプラスチックは、内部に空洞はなく、密度は均一であるとする。

表1

物質	ポリプロピレン	ポリスチレン	ポリエチレンテレフタレート	ポリ塩化ビニル
密度 [g/cm ³]	0.90~0.92	1.05~1.07	1.38~1.40	1.20~1.60

表2

物質	水	20%食塩水
密度 [g/cm ³]	1.00	1.15

【実験1】表1のいずれかの物質である4種類のプラスチックA、B、C、Dを約1 cm²の小片にして、水と20%食塩水をそれぞれ入れたビーカーの中に図のように入れた。ピンセットを静かに離してプラスチックの小片が浮くか、沈むかを観察し、その結果を表3にまとめた。

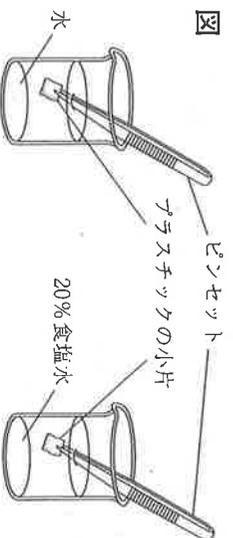


表3

	プラスチックA	プラスチックB	プラスチックC	プラスチックD
水	沈む	沈む	浮く	沈む
20%食塩水	浮く	沈む	浮く	沈む

問1 実験1の結果から、プラスチックAとして最も適当な物質は表1のどれか答えよ。

問2 プラスチックについて説明した文として最も適当なものは、次のどれか。

- ア ポリエチレンは、主にペットボトルとして利用されている。
- イ ポリエチレンテレフタレートは、主にポリ袋として利用されている。
- ウ プラスチックは、種類によらず同じようによく燃え、同じようにすすを出す。
- エ プラスチックは、一般的に石油を原料としてつくられ、様々な用途に利用されている。

問3 プラスチックや砂糖のように炭素を含み、燃焼させると二酸化炭素が発生する物質を何というか。

【実験2】実験1において、プラスチックBとプラスチックDは同じ結果であったため、プラスチックBの体積と質量をはかり、計算して求めた密度によってプラスチックBとプラスチックDを区別することにした。実験1で用いた小片とは別に、新たに体積をはかりやすい大きさにしたプラスチックBを容量の半分の水を入れたメスリンダーを用いて体積をはかると8.0 cm³であった。

問4 下線部について、プラスチックBの体積のはかり方を説明せよ。

問5 プラスチックBの質量は12 gであった。プラスチックBの密度は何g/cm³か。また、プラスチックBとして最も適当な物質は表1のどれか答えよ。

3

I、IIの各問いに答えよ。

I ハルさんとアキさんの会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

図 1



ハル：図 1 は、海岸清掃のボランティアに参加したときの写真です。

アキ：ごみがたくさん落ちているね。どのようなごみがあったの？

ハル：プラスチック、流木や木材などが落ちていました。

アキ：海洋プラスチックごみは、海中を浮遊して海岸に漂着したり、海底に沈んだりして、海の生態系に影響を与えているよ。

ハル： 。

アキ：そうなんですね。

ハル：プラスチックが浮遊したり、沈んだりしているのは、プラスチックの種類によって性質が異なるのかもしれない。どんな種類のものがあるのか、調べることはできるのかな？

アキ：一緒に調べてみよう。

問 1 には、海洋プラスチックごみが海の生態系にどのような影響を与えているか具体的に答えた文章が入る。あなたならどう答えますか、あなたの考えを書きなさい。

問 2 下線部について、表 1 と表 2 は、室温における 3 種類のプラスチック、水、20%食塩水の密度を示したものである。表 1 のいずれかの物質からなる 3 種類のプラスチックを見分けるために、**図 2** の実験器具を用いてどのような実験を行えばよいか、答えなさい。なお、実験材料として、3 種類のプラスチックはそれぞれ約 1 cm³程度の小片にしたものを使用するものとする。

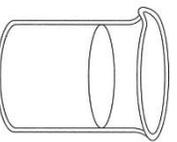
表 1

物質	ポリプロピレン	ポリスチレン	ポリエチレン テレフタレート
密度 [g/cm ³]	0.90～0.92	1.05～1.07	1.38～1.40

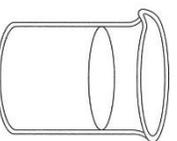
表 2

物質	水	20%食塩水
密度 [g/cm ³]	1.00	1.15

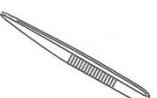
図 2



水の入ったビーカー



20%食塩水の入ったビーカー



ピンセット

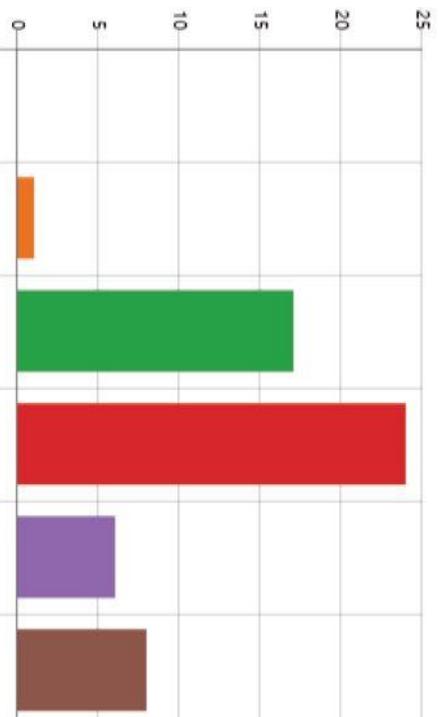
高校生の入試と学力に関するアンケート

高校教育課

※ 1 は学校名、 2 は記入者名のため省略

3. 従前制度と現行制度で入学した生徒を比較して、入学段階の高校生の学力についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

①とても向上している	0
②少し向上している	1
③変わらない	17
④少し低下している	24
⑤かなり低下している	6
⑥分からない	8



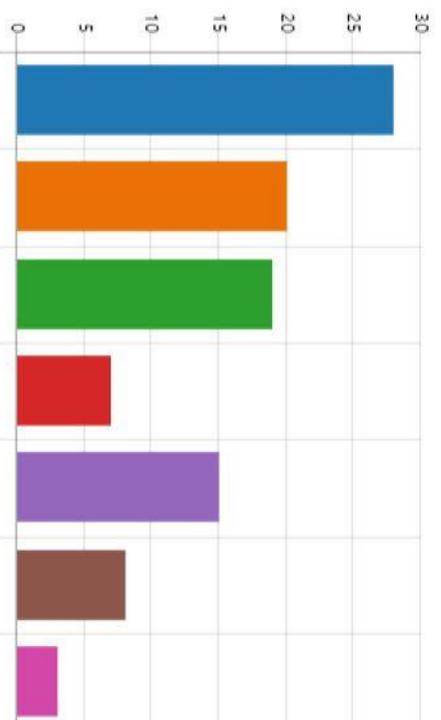
4. 3で①・②を選んだ方は、どういところで、そう感じられますか？ あてはまるものを次の中から選んでください。(複数回答可)

- ① 知識 (各教科等において習得... 1
- ② 技能 (各教科等において習得... 1
- ③ 思考 (筋道をたてて考える力... 0
- ④ 判断 (資料やグラフを読み取... 0
- ⑤ 表現 (自分の言葉でわかりや... 0
- ⑥ 主体的に学習に取り組む態度 0
- その他 0



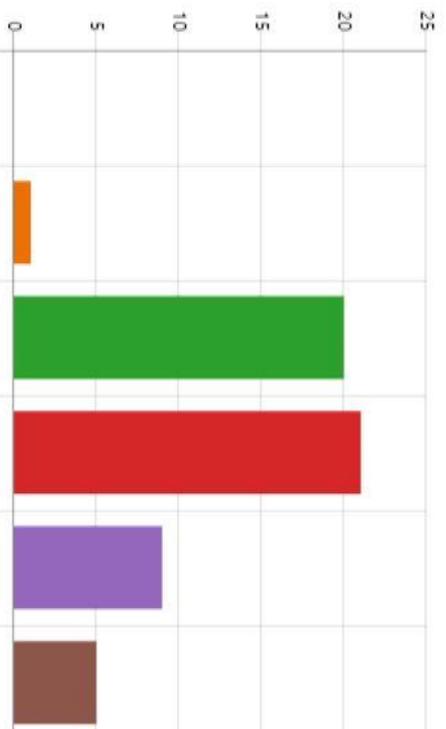
5. 3で④・⑤を選んだ方は、どういところかで、その感じられますか？ あてはまるものを次の中から選んでください。(複数回答可)

- ① 知識 (各教科等において習得... 28
- ② 技能 (各教科等において習得... 20
- ③ 思考 (筋道をたてて考える力... 19
- ④ 判断 (資料やグラフを読み取... 7
- ⑤ 表現 (自分の言葉でわかりや... 15
- ⑥ 主体的に学習に取り組む態度 8
- その他 3



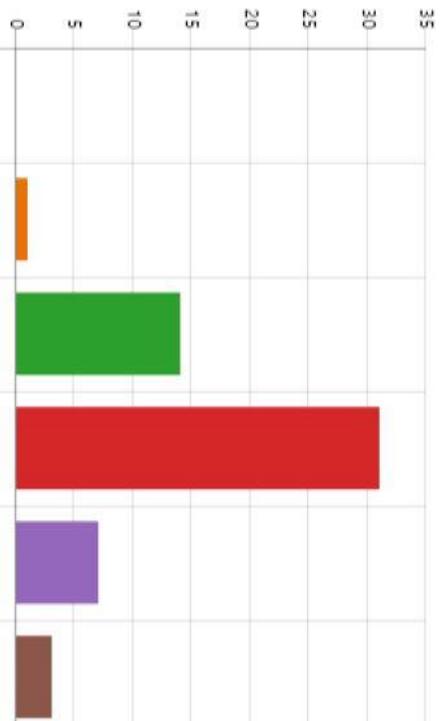
6. 従前制度と現行制度で入学した生徒を比較して、入学段階の国語の学力についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- ① とても向上している 0
- ② 少し向上している 1
- ③ 変わらない 20
- ④ 少し低下している 21
- ⑤ かなり低下している 9
- ⑥ 分からない 5



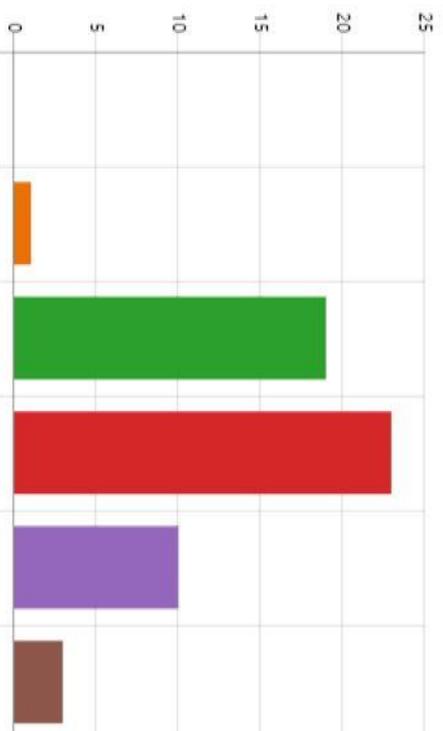
7. 従前制度と現行制度で入学した生徒を比較して、入学段階の英語の学力についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- ①とても向上している 0
- ②少し向上している 1
- ③変わらない 14
- ④少し低下している 31
- ⑤かなり低下している 7
- ⑥分からない 3



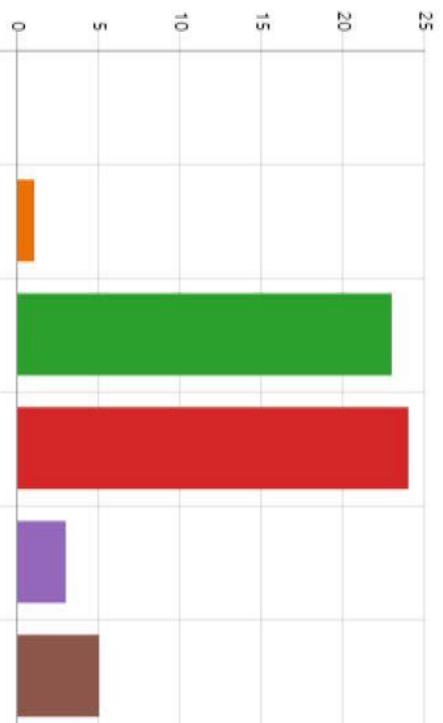
8. 従前制度と現行制度で入学した生徒を比較して、入学段階の数学の学力についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- ①とても向上している 0
- ②少し向上している 1
- ③変わらない 19
- ④少し低下している 23
- ⑤かなり低下している 10
- ⑥分からない 3



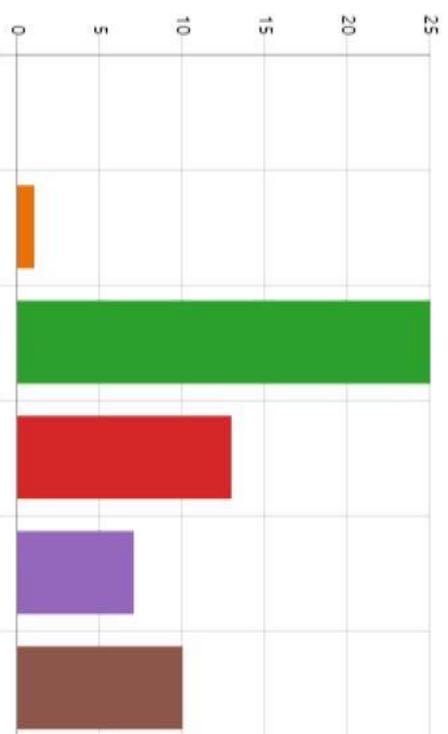
9. 従前制度と現行制度で入学した生徒を比較して、入学段階の理科の学力についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- ①とても向上している 0
- ②少し向上している 1
- ③変わらない 23
- ④少し低下している 24
- ⑤かなり低下している 3
- ⑥分からない 5



10. 従前制度と現行制度で入学した生徒を比較して、入学段階の社会の学力についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- ①とても向上している 0
- ②少し向上している 1
- ③変わらない 25
- ④少し低下している 13
- ⑤かなり低下している 7
- ⑥分からない 10



11. 現行制度で入学した生徒の今後の進路（進学や就職等）について、どう考えますか。次の中から1つ選んでください。

- ① とてもいい成果が期待できる 0
- ② ある程度いい成果が期待できる 1
- ③ 従前制度のときと変わらない 36
- ④ あまりいい成果が期待できない 11
- ⑤ 全くいい成果が期待できない 0
- ⑥ 分からない 8

